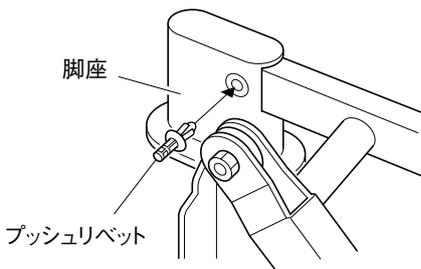
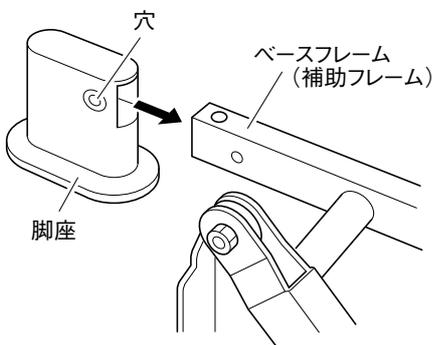
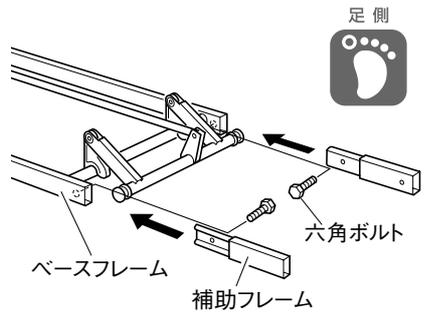
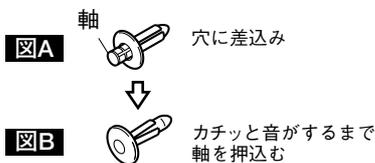


11 ベッドの組立方法

1. 脚座の取付け



プッシュリベットを取付けるときは



- ① 組立前に28ページの「設置について」に従い、ベッドの配置をお決めください。

下記②、③はロングおよび延長フレームを取付けるベッドの作業です。

- ② 足側のベースフレーム先端に補助フレームを差込んでください。(左右各1カ所)



- 補助フレームは延長フレームに梱包されています。
- 補助フレームは穴のあいている方を内側にしてください。

- ③ 付属の六角ボルトで補助フレームをベースフレームに固定してください。



- ボルトの締付けは、付属のスパナを使用してください。

- ④ ベースフレーム (補助フレーム) を持ち、先端に脚座を差込んでください。(4カ所)



- 脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。

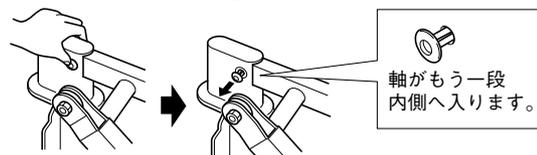
- ⑤ プッシュリベットが図Aのような状態であることを確認してください。(なっていない場合は図Aの状態にしてください。)

- ⑥ ベースフレーム (補助フレーム) と脚座の穴位置を合わせプッシュリベットを差込んでください。

- ⑦ プッシュリベットの軸を押込んで図Bの状態にして、脚座をベースフレーム (補助フレーム) に固定してください。(4カ所)

プッシュリベットを外すときは

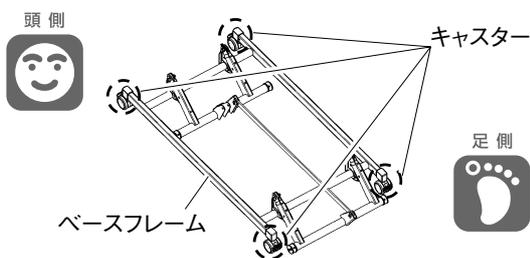
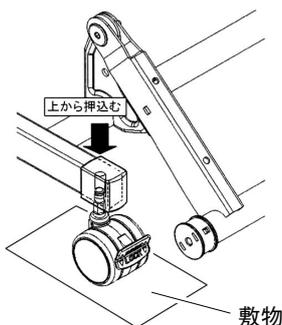
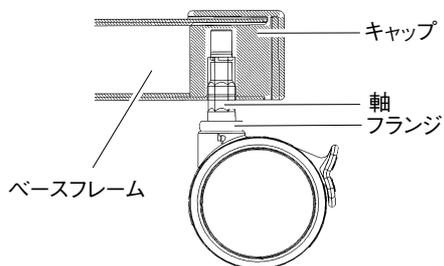
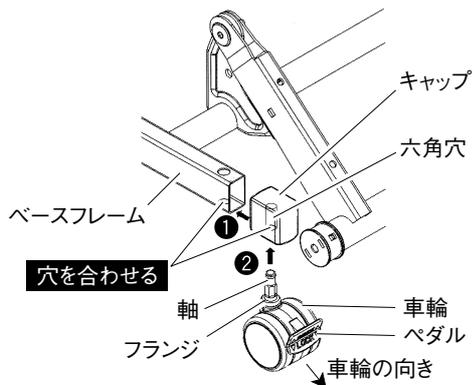
- カチッと音がするまで指で軸をさらに押込んでください。固定が解除されますので、そのまま抜いてください。
※指で押込めない場合は、押込みすぎないように注意してドライバー等で軽く押込んでください。
※再度取付ける際は、図Aの状態にしてください。



- ボルトで補助フレームを、プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。固定されていない場合、補助フレームや脚座が外れてけがや破損の原因となります。

2. 「キャスター・ハイトスペーサー」(別売)の取付け

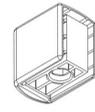
■キャスター(KQ-39)の取付け(ロングおよび延長フレームを取付けたベッドには適合しません。)



■組立付属部品



キャスター
(ストッパー付)
(4個)



キャップ
(4個)

※次の①～③の作業を4カ所すべてについて行ってください。

- ① ベースフレームの先端に、キャップを奥まで差込み、キャップとベースフレームの穴位置を確実に合わせてください。
- ② キャスターを図の向きにして、キャスターの軸(六角部)をキャップの穴の途中まで差込んでください。



- キャスターの軸(六角部)をキャップの穴に確実に合わせて、差込んでください。

- ③ 車輪をゆかに接地させ、ベースフレームの上面を手で押して、キャスターの軸をキャップの中に完全に押し込んでください。



- ベースフレーム上面を手で押してキャスターを押し込む際に、ベースフレームとキャスターの間に指をはさまないように注意してください。また、押し込む際にはゆか材を保護するためキャスターの下に敷物(脚座カーペットなど)をしてください。

- キャスター取付け後、フランジとベースフレーム下面が接することを確認してください。
- キャスターが下図のように4カ所に取付いていることを確認してください。
- キャスター4輪すべてを固定状態にしていることを確認してからベッドの組立を行ってください。



けい こく
警告

- ベッドを移動させるとき以外は、4カ所のキャスターすべてを固定状態にしてください。ベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。



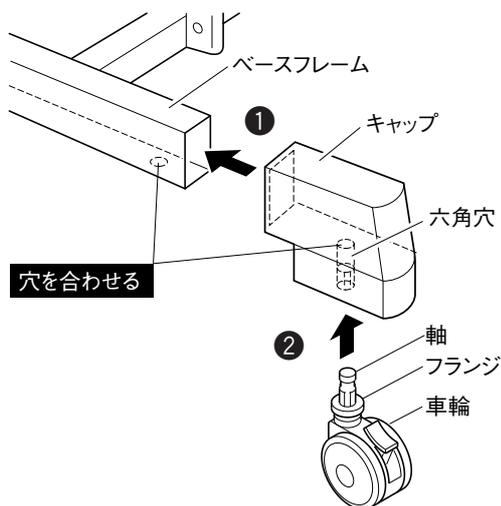
ちゅう い
注意

- キャスターが固定された状態でベッドを無理に動かすと、ベッドおよびキャスターが故障するおそれがあります。

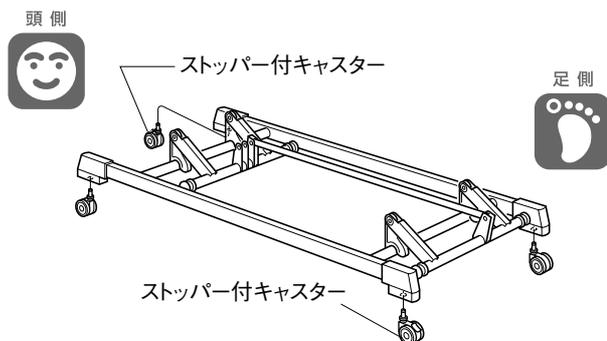
11 ベッドの組立方法

■キャスター(KQ-029)の取付け(ロングおよび延長フレームを取付けたベッドには適合しません。)

■組立付属部品



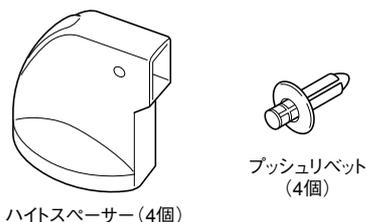
- ① ベースフレームの先端に、キャップを奥まで差込み、キャップとベースフレームの穴位置を確実に合わせてください。
 - ② キャスターの軸をキャップの六角穴に合わせ、カチッと音がするまで差込んでください。
- このとき、フランジとキャップが接していることを確認してください。
 - ストッパー付のキャスターは下図のように対角の位置に取付けてください。
 - キャスターの軸(六角部)をキャップの穴に確実に合わせて、差込んでください。
 - キャスターを差込む際に、指をはさまないように注意してください。
 - 対角2カ所のキャスターを固定状態にしていることを確認してベッドの組立てを行ってください。



●ベッドを移動させるとき以外は、対角2カ所のキャスターを固定状態にしてください。ベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

■ハイトスペーサー(KQ-028)の取付け

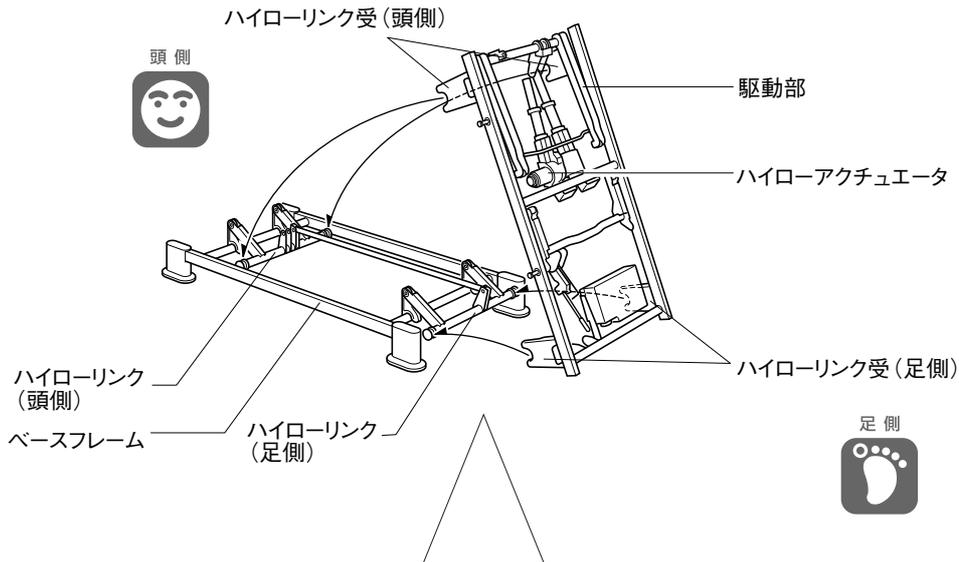
■組立付属部品



- ハイトスペーサーの取付け方は脚座と同じです。29ページの「脚座の取付け」に従ってハイトスペーサーを取付けてください。
- あらかじめ脚座が取付けてある場合には、29ページの「プッシュリベットを外すときは」に従ってプッシュリベットを外し、脚座を取外してください。

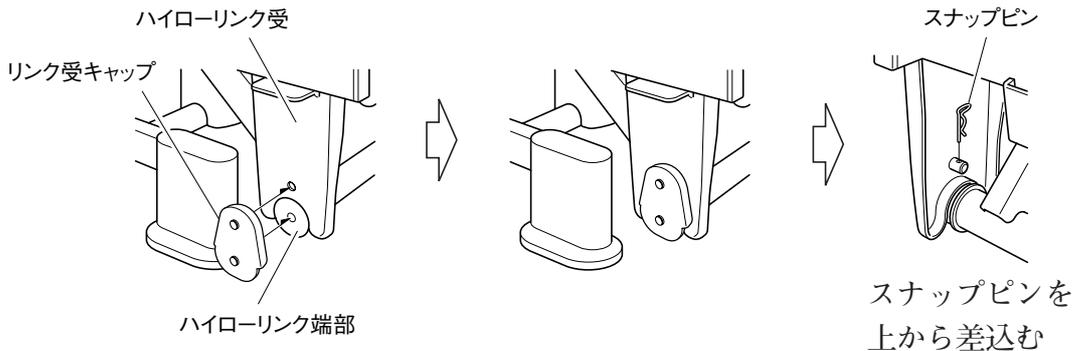
3. 駆動部の取付け

- ① 図のようにハイローリンク(足側)の上にハイローリンク受(足側)をのせて駆動部をゆっくり倒し、ハイローリンク(頭側)の上にハイローリンク受(頭側)をのせてください。



- ② リンク受キャップをハイローリンク端部の穴およびハイローリンク受の穴に差込んでください。(4カ所)

- ③ ハイローリンク受の裏側でリンク受キャップの穴にスナップピンを確実に差込み、リンク受キャップを固定してください。(4カ所)



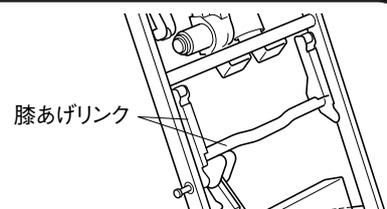
警告

- リンク受キャップは奥まで差込み、裏側でスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損しけがをするおそれがあります。

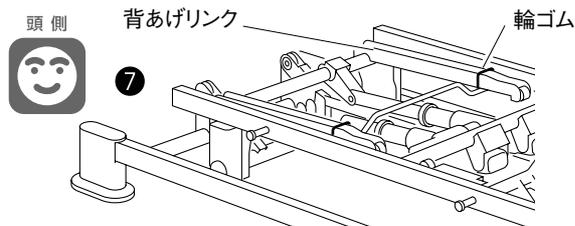
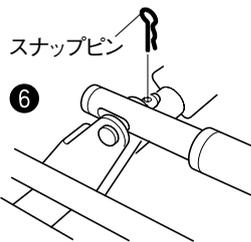
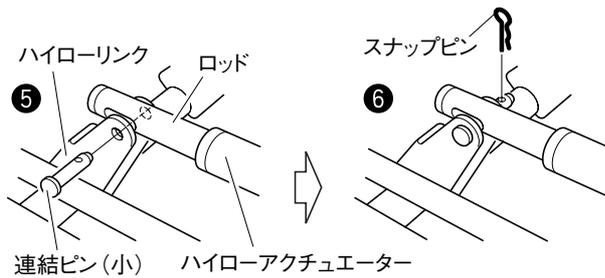


注意

- 膝あげリンクを持って運搬や組立てを行わないでください。けがや破損の原因になります。



11 ベッドの組立方法



④ハイローアクチュエーターのロッドを固定しているバンドを取外してください。

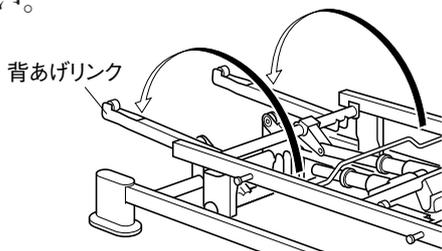
⑤ハイローアクチュエーターのロッド先端とベースフレームのハイローリンクを付属の連結ピン(小)で連結してください。

⑥連結ピン(小)の穴にスナップピンを差込んでください。

⑦背あげリンクを固定している輪ゴムを取外してください。

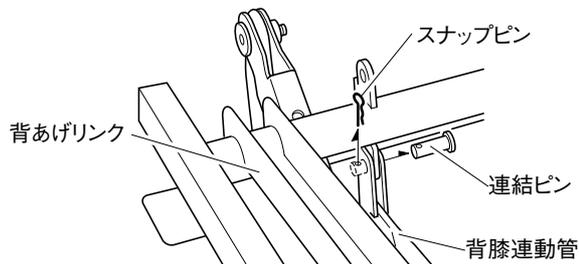
らくらくモーション・3モーターシリーズ

⑧背あげリンクを回転させて外側に出してください。

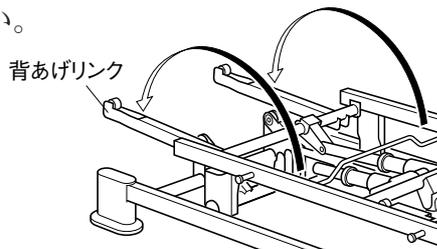


2モーターシリーズ

⑧背膝連動管の先端(頭側)を連結している連結ピンとスナップピンを取外してください。



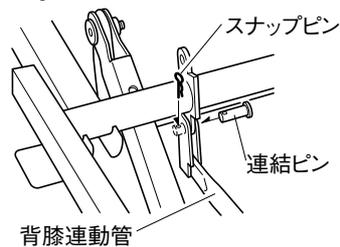
⑨背あげリンクを回転させて外側に出してください。



⑩2モーターシリーズは背膝連動管の先端(頭側)と背あげリンクを⑧で取外した連結ピンとスナップピンで連結してください。



●連結ピンはベッドの内側から差込んでください。

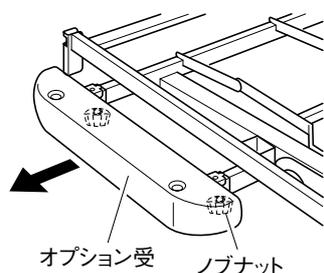


4. アクセサリー枠の取付け



- ノブボルト（黒）は確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいると、ベッドが落下してけがをするおそれがあります。
- オプション受は最後まで引出し、ノブナットでしっかりと固定した状態でご使用ください。最後まで引出されていないかたたり、しっかりと固定していない状態で使用すると、オプション受がぐらついたりはずれたりして、けがをするおそれがあります。

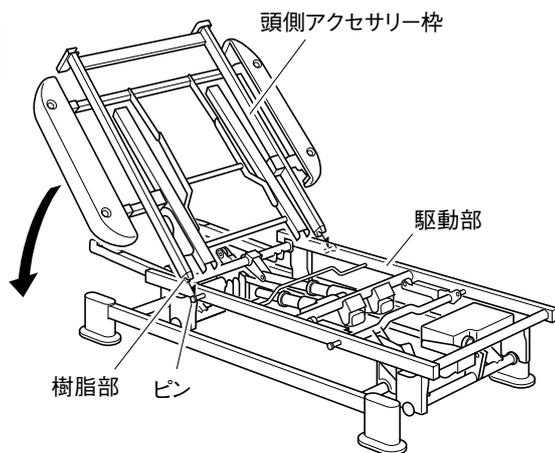
レギュラー、ミニ



- ①頭側及び足側アクセサリ枠のオプション受を固定しているノブナットをゆるめてオプション受を最後まで引出し、再度ノブナットを締付けてください。（8カ所）



頭側



- ②頭側及び足側アクセサリ枠の樹脂部を駆動部のピンに合わせて、駆動部の上ののせてください。

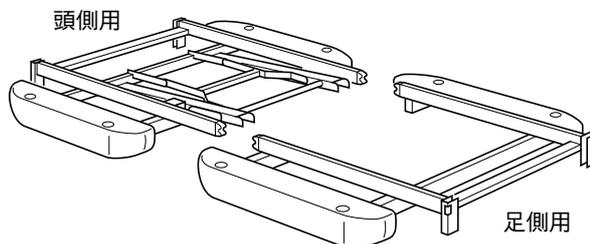
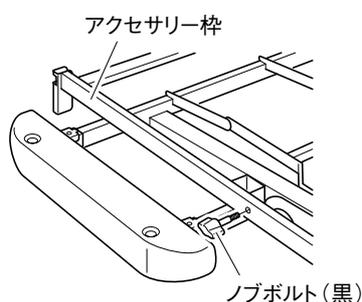


足側



注記

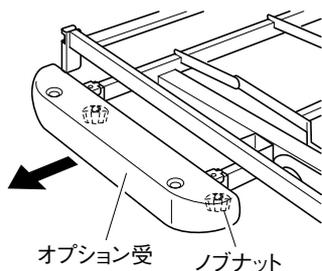
- アクセサリ枠には頭側用と足側用があります間違えないように取付けてください。



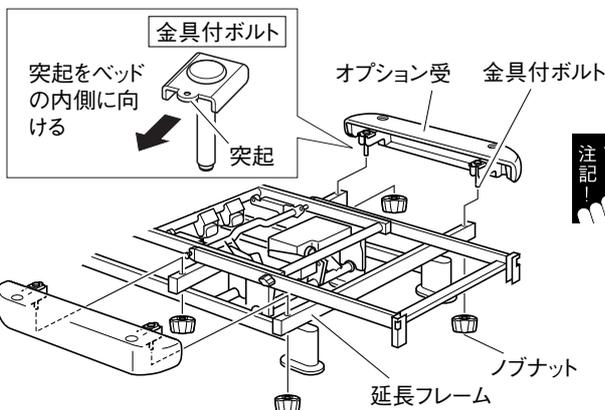
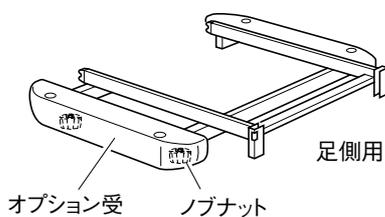
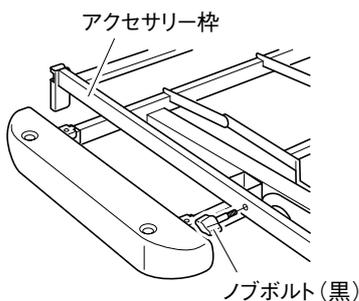
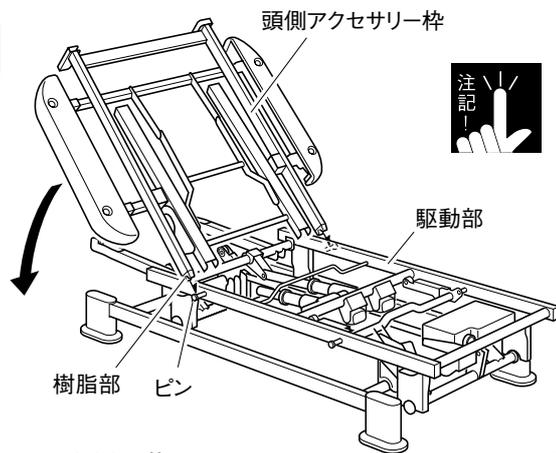
- ③付属のノブボルト（黒）で頭側及び足側アクセサリ枠を駆動部に固定してください。（左右各2カ所）

11 ベッドの組立方法

ロング



頭側

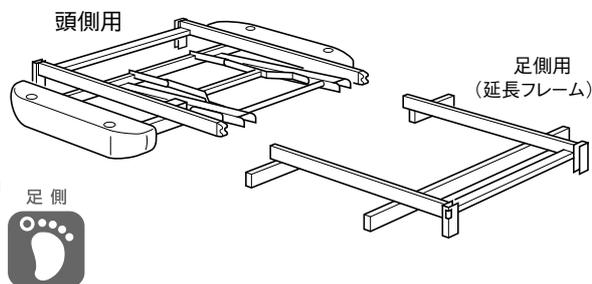


●ベースフレームに補助フレームが取付いていることを確認してください(29ページ参照)。

①頭側アクセサリ枠のオプション受を固定しているノブナットをゆるめて、オプション受を最後まで引出し、再度ノブナットを締付けてください。(左右各2カ所)

②頭側アクセサリ枠、延長フレームの樹脂部を駆動部のピンに合わせて、駆動部の上ののせてください。

●延長フレームは足側に取付けてください。



③付属のノブボルト(黒)で頭側アクセサリ枠、延長フレームを駆動部に固定してください。(左右各2カ所)

④足側アクセサリ枠のオプション受を固定しているノブナットを外し、オプション受を取外してください。

●オプション受を取外した足側アクセサリ枠は使用しません。

⑤④で取外したオプション受の金具付ボルトが、延長フレームの穴に合うようにのせてください。

⑥オプション受を最後まで引出し、金具付ボルトをノブナットで固定してください。(左右各2カ所)

●金具付ボルトの突起がベッドの内側を向いていることを確認してください。(4カ所)

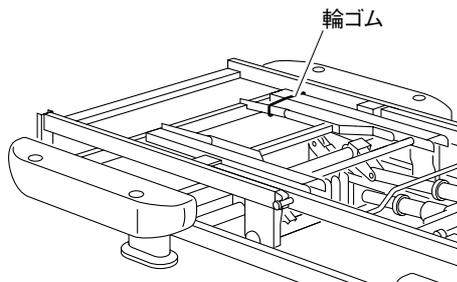
足側



5.キューマボトムの取付け



●電源コードは必ずベースフレームの下側を通し、可動部分との接触がないことを確認した上で、コンセントまで配線してください。断線や破損のおそれがあります。

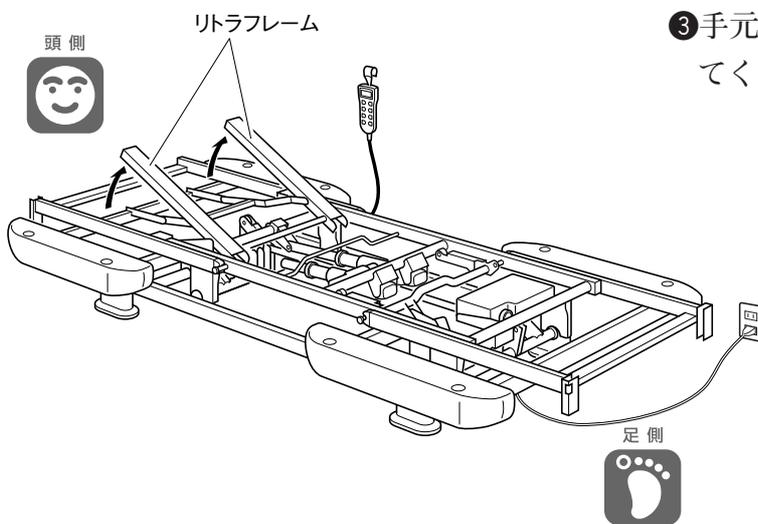


●作業をしやすいするために、リトラフレームをあげてください。

①リトラフレームを固定している輪ゴムを外してください。

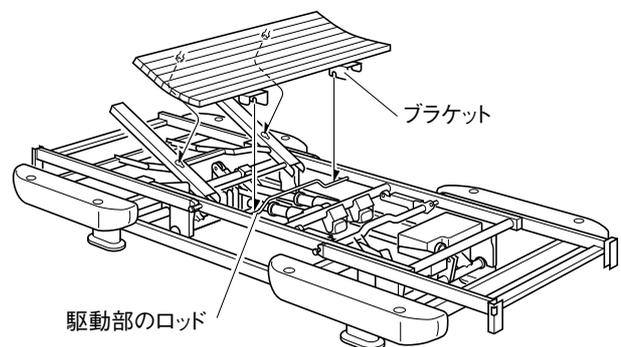
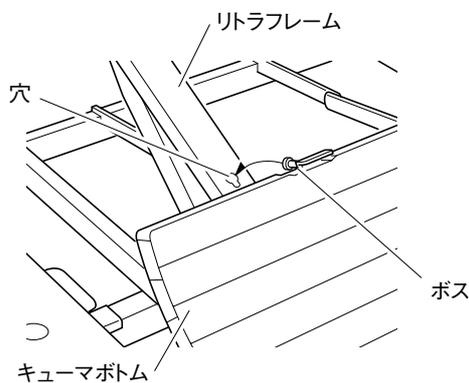
②ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

③手元スイッチでリトラフレームを約40°あげてください。



④キューマボトムの左右のボスを、リトラフレームの穴に差し込んでください。

⑤左右のブラケットの溝を、駆動部のロッドに差し込んでください。

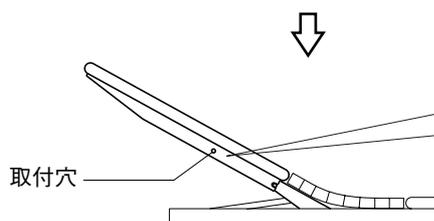
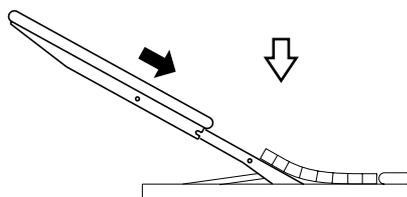
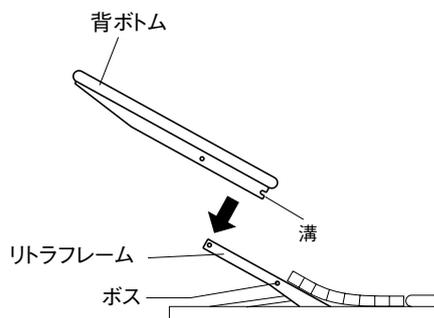
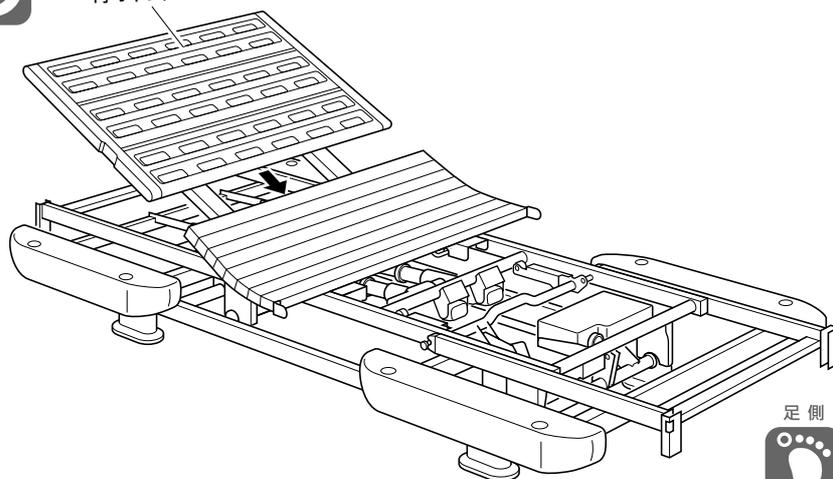


11 ベッドの組立方法

6. 背ボトムを取付け



背ボトム



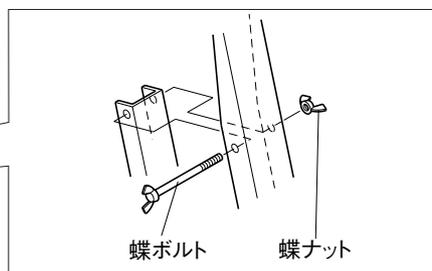
① 図のように背ボトムをリトラフレームにのせてください。

② 背ボトムを足側へスライドさせ、背ボトムの溝をリトラフレームのボスに差込んでください。

③ 背ボトムとリトラフレームの取付穴(左右各1カ所)に外側から蝶ボルトを差込み、蝶ナットで締付けてください。



● 蝶ナットは左右とも、手で十分に締めてください。(工具不要)



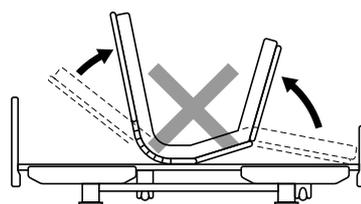
④ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下まで下げ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

7.足ボトムを取付け

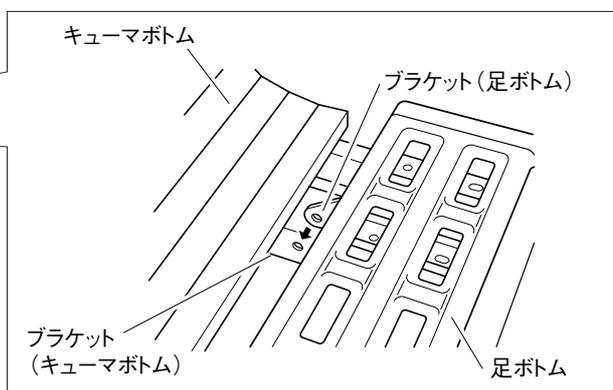
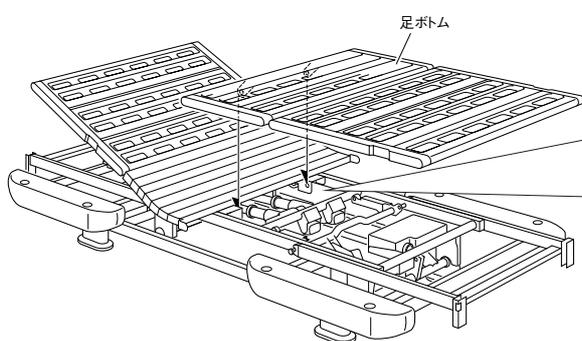


ちゅうい
注意

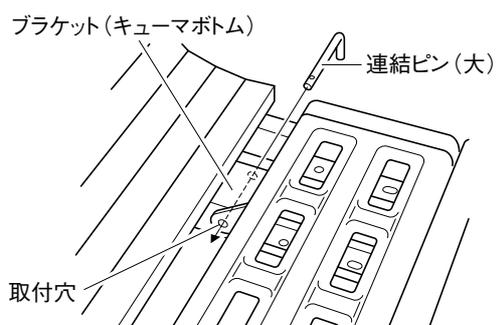
●背ボトム、足ボトムを持ちあげて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。変形・破損のおそれがあります。



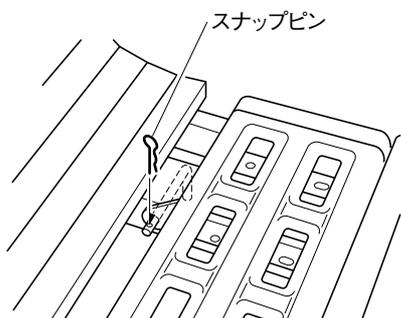
- ①足ボトムのブラケット穴をキューマボトムのブラケット穴の位置に合わせ、足ボトムをのせてください。



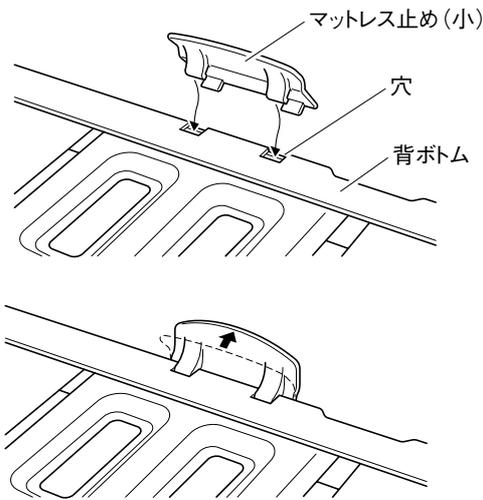
- ②駆動部の取付穴(左右各1カ所)に連結ピン(大)を外側から差込み、各ボトムと駆動部を連結してください。



- ③連結ピン(大)の穴にスナップピンを差込んでください。



8. マットレス止めの取付け



① マットレス止め(小)を背ボトム、足ボトム
両端の穴に斜めに差込んでください。
(背ボトム・足ボトム各2カ所)

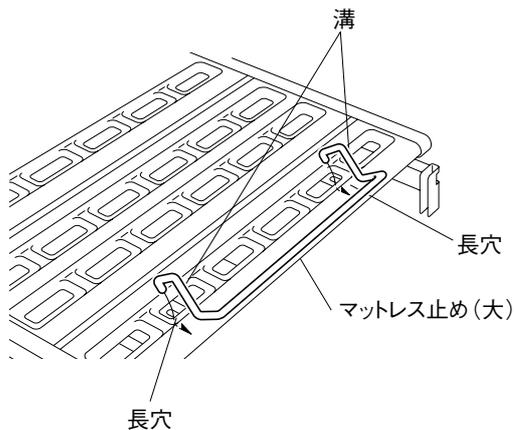
② マットレス止め(小)を起こしてください。



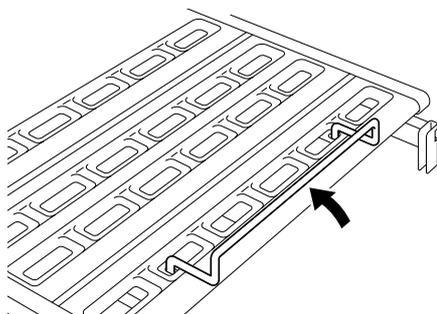
● マットレス止め(小)の取付け後、軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

レギュラー・ミニサイズ

③ マットレス止め(大)を傾けた状態で、マットレス止め(大)を内側に押しながら先端を足ボトムの長穴に差込んでください。

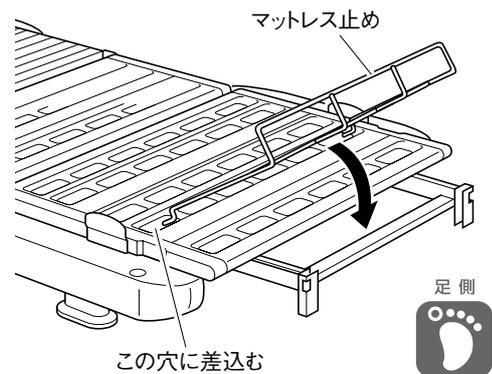


④ マットレス止め(大)を起こし、溝部を足ボトムの長穴にはめてください。



ロングサイズ

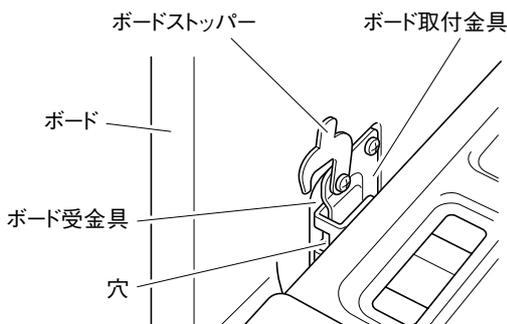
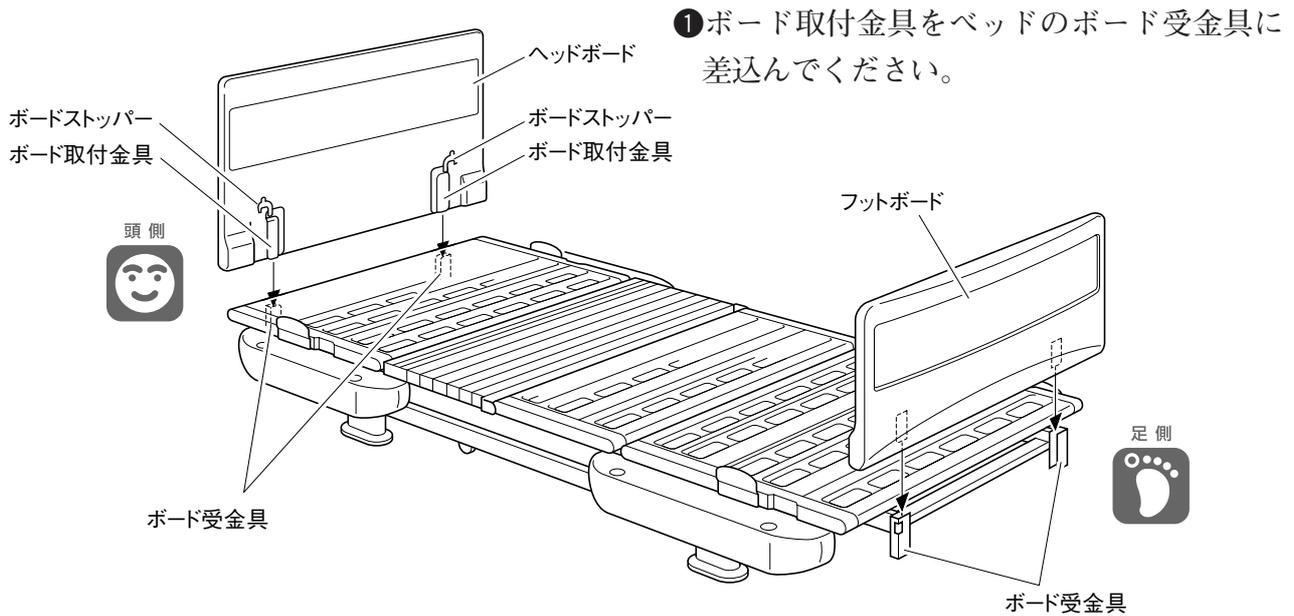
③ 足ボトムの穴に延長フレーム用のマットレス止めの先端を斜めに差込んでください。



④ マットレス止めをたおしてください。

9.ヘッドボード・フットボードの取付け

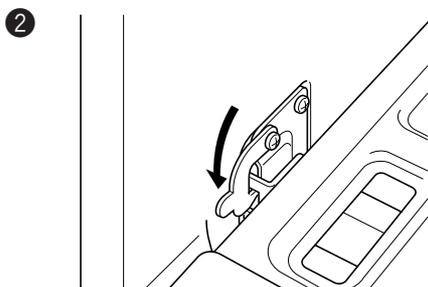
■ヘッドボード・フットボードにはボードストッパーが付いています。下記の手順で取付けてください。ともに、まっすぐ最後まで差込んでください。



② ヘッドボード・フットボードのボードストッパーを左図のように穴へ差込んでください。



● ボードの上部に安全ラベル（警告、注意事項が記載されているシール）が貼ってある方を足側に取付けてください。



③ 組付け後、ボードストッパーがボード受金具の穴に掛かっているか、必ず確認してください。



- ボードストッパーを掛け忘れて、掛けかたが不完全な場合、不意にボードが外れてけがをするおそれがあります。
- ボードを取付ける際は、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。